

受験番号

2025 年度 一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科（修士課程）
二次選考（筆記試験）

社会科学 入試問題

2024 年 9 月実施

【 注 意 事 項 】

1. 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。試験時間：14 時 30 分～15 時 30 分。
2. 問題は本文 8 ページ、解答用紙は 2 枚である。下書き用紙 2 枚は自由に使ってよい。
試験開始後、直ちに確認し、ページ数・枚数が異なる場合は、手を挙げなさい。
3. 試験開始後、問題の表紙、解答用紙、下書き用紙に受験番号を正確に記入しなさい。
氏名は記入しないこと。
問題、解答用紙、下書き用紙は一切持ち帰らないこと。
4. **経営学** **経済学** **法学** **政治学** の 4 つの問題から 1 つを選んで、解答用紙に日本語で解答を記入しなさい。
解答用紙上段の「問題名」の中から、解答する問題名 1 つを選んで、○で囲みなさい。
2 つ以上の問題名を○で囲んでいる場合や、問題名を○で囲んでいない場合は得点を与えないので、以下の記入例をよく確認すること。

《記入例》 **経営学** を解答する場合

解答用紙

問題名	以下の中から解答する問題名 1 つを選んで、○で囲みなさい。 2 枚の解答用紙で、同じ問題名を○で囲むこと。
	経営学 / 経済学 / 法学 / 政治学

5. 解答を記入する際は、解答する問いの番号（**問 1**、**問 1.(1)**等）を必ず記入すること。

経営学

以下の2つの問いに対して、解答せよ。解答にあたり、図表または数式を用いてもよい。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

- (1) プロスペクト理論を図と文章を使って説明せよ。(合計 200 字以内。図は文字数に含まない。)
- (2) 組織のエスカレーション・オブ・コミットメントとはどのような意思決定バイアスか。実例とともに説明せよ。また、この現象が起こるメカニズムについてプロスペクト理論の観点から説明せよ。(合計 300 字以内)
- (3) 組織のエスカレーション・オブ・コミットメントの防衛策を2つ、理由とともに提案せよ。(合計 200 字以内)

問 2

- (1) 企業の取るべき製品戦略を説明するモデルとして、アンゾフの成長マトリックスが知られている。アンゾフの成長マトリックスの概要について、「市場浸透戦略」、「多角化戦略」、「市場開拓戦略」、「新製品戦略」の語句をそれぞれ 1 回以上用いて説明せよ。
(合計 400 字以内)
- (2) 製品は中核部分・実態部分・付随部分の 3 つのレベルに分けられるとされている。この 3 つについて、具体的な製品例を挙げながら説明せよ。(合計 400 字以内)

経済学

以下の2つの問いに対して、解答せよ。解答にあたり、図、数式、または、その両方を用いて解答することを推奨する。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

財1（数量 x_1 ）、財2（数量 x_2 ）の効用関数は以下のとおりであるとする：

$$u(x_1, x_2) = \min\{x_1, x_2\}$$

財1の価格が6ドル、財2の価格が6ドル、所得が12ドルである。財2の価格が6ドルから4ドルに下がった場合を考える。

- (1) その場合の最適消費の変化(消費ベクトル (x_1, x_2) から (x_1', x_2') に変わると書き表す)を求めなさい。
- (2) その場合の代替効果(消費ベクトル (x_1, x_2) から (x_1', x_2') に変わると書き表す)を求めなさい。
- (3) その場合の所得効果(消費ベクトル (x_1, x_2) から (x_1', x_2') に変わると書き表す)を求めなさい。

問 2

1958 年、A・W・フィリップスは、「1861 年から 1957 年のイギリス経済における失業率と名目賃金の変化率の関係」という論文を発表した。1960 年、ポール・サミュエルソンとロバート・ソローは「反インフレーション政策の分析」という論文を発表した。彼らは、歴史データからインフレーションと失業率についての関係を明らかにした。具体的には、経済政策の目標となる、「低い失業率」と「低いインフレ率」の組合せについては、同時に実現することは困難であるとした。

- (1) 政策立案者が総需要を減少させると、①短期において物価水準と失業率はどうなるか。加えて②中央銀行が貨幣供給を減らすと何が起こるか。それぞれについて答えなさい。
- (2) 石油などを扱う企業の原価が高騰し、総供給に関して不都合なショックが発生した時に、産出量に対してどのような影響を与え、インフレ率はどのように変化するのか。総需要(AD)と総供給(AS)モデルとフィリップスカーブを用いて説明しなさい。

法 学

以下の2つの問いに対して、解答せよ。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

法律と条例の関係について、デジタル社会が法に与える変化に触れつつ、論じなさい。

問2

日本におけるプロファイリングに関する法的課題について、現在の日本の施策の問題点を論じなさい。

注) プロファイリングとは、「ある人物の個人情報や過去の行動を分析し、今後の行動などを推測すること」を指す。(『デジタル大辞泉』より)

政治学

以下の2つの問いに対して、解答せよ。解答にあたり、図表または数式を用いてもよい。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

世界の国々を理解する際、既存研究は様々な側面に着目してきた。2値カテゴリー化はそのアプローチの1つである。例えば、

1. 先進国・発展途上国
2. 核兵器所有国・核兵器非所有国
3. 変動為替相場制・固定為替相場制
4. ムスリム国・非ムスリム国
5. 民主主義国家・権威主義国家
6. （主に、民主主義国家の中で）大きな政府・小さな政府
7. 旧植民地・非植民地

などが例として挙げられる。上記に挙げられたカテゴリーの中から1つを選び、①そのカテゴリー化の意義と限界を述べよ。②そして、そのカテゴリーの（2値からなる）グループ間の違いや類似点を、政治学的視点から、事例や歴史的背景を含め、述べよ。

問 2

次のテーブルは、20 カ国の人口増加率、失業率、再生エネルギー消費量（対総エネルギー消費量比）、一人当たり GDP、軍事費(対 GDP 比)のデータである。

国名	人口増加率 (%)	失業率 (%)	再生エネルギー消費量（対総エネルギー消費量比； %）	一人当たり GDP (US\$)	軍事費（対 GDP 比； %）
Australia	0.14	5.12	10.89	60697.25	1.99
Canada	0.58	7.53	23.85	52515.20	1.27
Chile	0.99	9.28	26.73	16240.61	1.93
France	0.29	7.86	16.87	43671.31	1.92
Germany	0.04	3.64	18.6	51426.75	1.33
Italy	-0.52	9.5	18.69	36449.26	1.72
Japan	-0.46	2.83	8.45	40058.54	1.02
Mexico	0.56	4.09	12.33	10359.15	0.68
New Zealand	0.42	3.78	28.61	49996.42	1.17
Netherlands	0.52	4.21	10.79	58727.87	1.38
Portugal	0.63	6.58	31.21	24661.17	1.54
Spain	0.11	14.78	19.35	30488.82	1.37
Sweden	0.60	8.72	58.40	61417.68	1.19
United Kingdom	-0.08	4.83	13.50	46869.76	2.16
United States	0.16	5.35	11.16	70219.47	3.46

出典：World Bank Indicators: <https://data.worldbank.org/indicator>

このデータから、説明変数と被説明変数を選び、政治学的視点の仮説とその因果メカニズム（説明変数と被説明変数をつなぐ関係性）を述べよ。

